



# JAあそだより

新年あけましておめでとうございます



大観峰から見た阿蘇の初日と雲海

## ■主な内容

- 新年のご挨拶
- 女性部フォーラム
- 阿蘇町中央支所落成
- 品目横断的経営安定対策へ変わります



## ▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

新年のご挨拶

## 役員一丸 さらに諸問題に取り組む年に



阿蘇農業協同組合代表理事組合長  
丸山 信義

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい平成18年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、JA事業に対し深いご理解とご協力戴きましたことに対して、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、水稲で9月の台風14号による稲体の損傷や高夜温の影響等による登熟不良、及び乳白米等の登熟障害粒やウンカなどの被害が発生し、作況指数92という事で計画対比7万4000俵の収量減、野菜等に至っては台風被害及び単価安で推移し、販売高計画対比13億円の減収と組合員の皆様には大変な打撃を被った1年でした。

JA阿蘇につきましては、昨年は役員改選の年で40名の役員のうち新人19名の役員が就任して戴きました。今後さらに役員会での農業問題・農政問題に議論を深めながら、19年度から実施されます食料農業農村基本法に伴う担い手づくり（認定農業者、集落営農等）推進に、JAとして来るべき19年度に向けて全力で取り組んで参ります。

また昨年の通常総代会で、ご承認戴きました阿蘇町中央支所も昨年11月14日から稼動しており、新たな組織整備が図られたものと思っております。今後とも組合員の皆様のご理解を得ながら組織整備に向け取り組んで参ります。

農業を取り巻く環境は依然として高齢化による農業従事者の減少、農業後継者の不足、農畜産物の価格低迷、個人消費の停滞等、農家にとりまして厳しい状況が続いております。そんな中、農業労働力を確保する為「外国人農業研修生」の受け入れを行いました。15名（男性2名、女性13名）の農業研修生が管内8戸の受入農家で研修に励んでいます。受入農家からの評判も良く、今後も引き続き対応していきたいと思っております。

今年も農業情勢は厳しいものと思われませんが、組合員の負託に込めるべく役員一丸となり諸問題に対し努力して参りますので、組合員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会保険庁長官表彰受ける

JA阿蘇



平成17年度社会保険のつどい（主催：熊本社会保険事務局）が昨年11月10日、関係者ら約180人が出席して熊本市のウエルシティ熊本厚生年金会館で開かれ、JA阿蘇が社会保険庁長官表彰（政府管掌健康保険事業功労者）を受けました。これは社会保険の推進などで優れた事業所や個人を表彰するもので、JA阿蘇は長年にわたる保険業務の正確で適切な事務処理が高く評価され、今回の表彰となりました。表彰式には後藤安弘常務がJA阿蘇を代表して出席しました。

表彰式後は、厚生労働省年金局の橋本泰宏企画官による「年金をはじめとする社会保険をめぐる情勢について」という演目で講演が行われました。

## 阿蘇町中央支所の 新庁舎落成



新しい阿蘇町中央支所

J A阿蘇が阿蘇町狩尾に建設していた阿蘇町中央支所が完成、落成式が平成17年11月9日行われ、関係者150人が出席し神事が行われました。

J A阿蘇では合併当初より組織整備を行っており、4支所の統廃合で2支所の業務は一部残るものの、新庁舎の落成により阿蘇町中央支所に業務をほぼ移行することができました。購買店舗、農機車輦センターの横に建築された新阿蘇町中央支所で、今後とも組合員・地域住民の利用サービスにいつそう努めることとなりました。業務は11月14日より開始されています。



落成を祝うテープカット

## 熊本県畜産共進会 最高位と名誉賞主席に

第37回県畜産共進会が10月29日・30日、県家畜市場と菊池郡七城町の熊本県畜産流通センターで開かれました。

牛、馬、豚など6部門に各地区の代表204点が出品され、体系や肉付きのバランスなどの審査が行われ、J A阿蘇からグランドチャンピオン、リザーブ



名誉賞主席を受賞した「まいひめ馬」

## J A阿蘇直販店「郷の四季」開店10周年感謝祭



大勢の人がつめかけた餅投げ



安全で安心な  
J A阿蘇の農作物に人だかり

J A阿蘇直販店「郷の四季」(菊池郡合志町)の開店10周年感謝祭が11月19日行われました。店頭に設けられた特設テントには生産者によって持ち込まれた新鮮な野菜や果物、花き、新米、畜産加工品や乳製品、饅頭、あか牛肉などが並べられ、J A阿蘇職員もいも天や焼いもコーナーを担当し、感謝祭を盛り上げていました。中でも採れたてのキャベツや大根などが1個50円で販売されているコーナーには人だかりができていました。また、当日の午前と午後2回、お祝いの紅白餅投げが行われ、店前の広場は買い物客の大きな歓声に包まれました。

チャンピオンに各1部門、3部門が名誉賞主席に入賞しました。この共進会は県畜産農業組合連合会が熊本県家畜の改良促進、畜産経営の安定、自給飼料の増産を推進し、その意欲高揚を図るとともに、消費者サイドの畜産に対する理解を求め、熊本県畜産の振興に資することを目的に4年に1度開催されています。入賞者(敬称略)は下記の通りです。

### ▽肉牛部門グランドチャンピ

オン||塚本恭弘(阿蘇市) 名号「勝美」、▽肉用種牛の部リザーブチャンピオン||飯星敏(山都町) 名号「しらゆき3」、▽肉用種牛(3部) 名誉賞主席||勝木忠男(高森町) 名号「みずき」、▽肉用種牛(6部) 名誉賞主席||原山寅雄(小国町) 名号「まいひめ号」、▽種馬の部(1部) 名誉賞主席||徳永嘉富(阿蘇市) 名号「第二初姫」、▽種馬の部(2部) 名誉賞主席||坂梨哲郎(阿蘇市) 名号「連裕」



菜園コンクール表彰  
 ちゃぐりん感想文発表  
 女性部員による体験発表  
 講演・学習会と  
 多彩なプログラムを実施

第3回JA阿蘇女性部フォーラム「家の光大会」が11月16日、女性部員やJA関係者ら246人が参加して阿蘇市の国立阿蘇青年の家で開かれました。

大会は熊本県山都町出身でNHKテレビでもおなじみの童謡歌手矢部清子さん（NPO日本国際童謡館副館長・DOYO組）のオープニングセレモニーで始まりました。矢部さんは紅葉や旅愁、赤とんぼなど誰もが知っている童謡や最近のヒット曲涙そうそうなど、幼いころ実家の農業を手伝った思い出話などを交えながら13曲を披露。会場の参加者も一緒に口ずさんだり、やさしい歌声の懐かしい童謡に涙ぐむ人もいました。

続いて9月に行われた女性部主催「平成17年度家庭菜園コンクール」の表彰式が行われ、最優秀賞の野田照子さん（長陽支部）、優秀賞の佐藤哲子さん（久木野支部）・鞭馬志津子さん（小国郷支部）・荒木けさよさん（阿蘇町支部）・武田イチヨさん（二の宮支部）の1人1人に田中弘子女性部長から表彰状と記念品が贈られました。

そして開会式に移り、JA女性組織綱領を全員で唱和後、田



家庭菜園コンクール表彰式

中部長が「農業を取り巻く環境は依然として厳しい。厳しいからこそ女性部の活動にも積極的に関わり、皆さんと一緒に一杯頑張っていきたいと思います。今日のフォーラムでは講師の皆様が素晴らしいお話が聴けると思いますが、それが活動の糧になればと思います」と主催者挨拶を行いました。後藤安弘常務やJA熊本中央会営農生活センター大森茂夫氏、阿蘇地域振興局農業普及指導課の木庭課長らから来賓祝辞が述べられました。

次に管内小学校10校から応募があった89編の中から、ちゃぐりん感想文の発表が行われ、南小国町立市原小3年城戸朱音さん「ちゃぐりんを読んで」、



主催者挨拶を行う  
田中部長



童謡を歌う  
矢部清子さん

阿蘇市立尾ヶ石東部小3年松本美優さん「ぼくの八月六日を読んで」、南阿蘇村立白水小3年北ひかりさん「朝食の大切さ」の3人がそれぞれステージで感想文を朗読すると、会場からは大きな拍手が送られました。

引き続き部員の体験発表に移り、菅美佐子さん（二の宮支部）が「夢一輪」というタイトルで食との出会いを通して体験したことや学んだことを語りながら、自分でも身近な家庭菜園を見直し、またJA雑誌「家の光」の記事を活用しながら、「阿蘇の大自然に負けないような新たな食と農に挑戦していきたい」と抱負を語りました。また介護ヘルパーの田原ミヤ子さん（小国

## 「家の光」を活用して さらに堅実な生活を送ろう！

郷支部)は「福祉活動に携わって」というタイトルで、JAの指導を受けヘルパーの資格を取り、これまで活動してきた苦労話や仕事を通して得た貴重な体験談や喜びを語り、介護や福祉サービスへのいっそうの理解と支援を求めました。

昼食をはさんで午後からは、熊本県・市ボランティア連絡協議会会長の潮谷愛(「しおたによしかず)氏が「21世紀の女性」という演題で講演。お年寄りは、

良いお年寄りとは嫌なお年寄りに分かれる。「嫌なお年寄りになるタイプは真面目・しっかりした人・頑張り人」と会場からの笑いを誘い、高齢時代におけるさまざまな出来事や問題点をユーマアたっぷり話しました。さらに近年薄れてきている「添い寝・おんぶ・だっこ」といった日本に古くから伝えられてきた育児方法の合理さと大切さを力説しました。

学習会では家の光講師の萬野

保子氏が「仲間であしく夢プラン」というタイトルで、JAライブラリの活用や家の光の家計簿記帳で堅実な生活を送ることの大切さ、さらに「年金プラス100万円自給自立運動」の推進などを訴え、JA組織の活用や活用とともに自分の老後プランをちゃんと持つことの大切さを語りました。

最後に参加者全員でJA女性部ソングを斉唱し、フォーラム全プログラムを閉じました。

※「ちやくりん感想文」は8、9ページに掲載しました。



ちやくりん感想文の表彰



菅美佐子さん(左)と  
田原ミヤ子さんの体験発表



講師の潮谷先生(右)と  
萬野先生



リズムに合わせて体操する  
会場の皆さん

おしゃれサロン大好評  
5100万円の販売額



JA阿蘇では10月から11月にかけて総合展示会「2005JA阿蘇おしゃれサロン」を3会場で開催しました。一昨年までは春先に開催していましたが17年度は、お客様の要望により秋に実施されました。

おしゃれサロンでは共同購入で良いものを安く、真心をこめて提供しようと、婦人服・カジユアル・バッグ・靴・宝飾品・寝具などが販売されました。

また、会場では女性部による手作り食品なども販売し、来場者は安心して購入していました。尚、サロンでは販売目標に対し102.4%の達成率で5100万円を売り上げました。

J A 農業インターン事業は、農業従事者の高齢化等により担い手不足が深刻な中、他産業に従事していたUターン就農希望



塩田さん



研修生の村上さん(右)中野さん

西原村の中野敏嗣さん(56)方で研修している村上将司さん(36)は、「農業関係の仕事をしている父と新しく仕事を始めようと思ったから」と研修の動機を述べ、将来は農業の受委託の仕事を目指しているそうです。

「農業は第1次産業とも言わ

者等に実践的な農業研修を行い、地域農業の担い手となる人材の育成・確保を図るため、J A 熊本中央会が事業実施主体となっている事業です。J A 阿蘇でも昨年9月より、3人の研修生が栽培技術や農業経営等について実践研修を行っています。

阿蘇市一の宮町の斉藤信幸さん(55)方で研修を受けている塩谷先さん(32)は「斉藤さんの下で研修をしていた知り合いの姿に共感し研修生となりまし

## 農業インターン事業で J A 阿蘇で3人が研修中

れるぐらい、生産することに意義がある。農業は「きつい・難しい・儲からない」というイメージがあるが、自分のやり方一つで大きく変わる。そのためには並々ならぬ努力と知恵が必要」と具体的な将来像を描きながら取り組んでいます。

村上さんを受け入れている中野さんは「仕事・農業に対しての意欲はまだまだであるが、本人が一生懸命やる意欲があればハウスや農地の委託、農業委員会を通じ農地の提供も協力する

た」と、インターン事業に参加した理由を述べ、「農業は自分の注いだ労力が目に見える形で返ってくる「モノ作りの醍醐味」に最も惹かれた」と感想を語り、斉藤さんからは「知識を持って物事を見よ」、「農業技術大系を記憶するぐらいまで何回も読め」と熱心な指導を受けていることを語りました。そして塩谷さんは「農業は、身体を動かす仕事」というイメージが強く、ここま

で勉強する必要があるのかと思

と村上さんの今後に期待していました。

「研修を受けて、自分の想像していたこととあまり違いはないが、教えてもらっている全ての事を今後の自分の活動に十分生かしていきたいです」と村上さん。研修で学んだことを自分で実行し、農家経営を研究し、農業経営の分野にも幅を広げ「農業の勝ち組み」を目指している村上さんに、中野さんは「働く事に楽しさが持てるように」とアドバイスしていました。

ついていた」そうで、斉藤さんの技術のレベルの高さに驚いたそうです。斉藤さんは「優れた能力、頭脳を持って農業に挑戦しようとしている熱意ある青年に出会った。自分の技術と経験で彼を手助けすれば高いレベルに達し得ると確信したため、指導と応援を引き受けた」と、塩谷さんの農業に対する熱い情熱を称えました。さらに「既存の農家は、勘や経験による農業、制度に守られ身体を動かせば良い農業が行えたが、今後、外国との国際的な競争が激化し、その競争に勝ち残っていくためにも農業者自身の努力は必須である。知識を持って農業に挑戦していく若い力は今までになかったスタイルであり、今後の農業に大きな影響力を与えていく」と、塩谷さんのような農業者に期待感を示しました。

塩谷さんは今年独立し就農予定で、「1人では何もできないので、地域の諸先輩方からの指導を仰ぎながら、地域に貢献できるような農業者になりたいと思っています。同時に斉藤さんの期待に応えられる農業者を目指しています」と結びました。

経営幹部職員養成を目的にした平成17年度「戦略デザイン研修会」が4月から11月までの累計30日間、合志町のJA熊本研修センターで開かれ、その研修成果発表報告会が11月11日、同センターで行われました。この研修会は「未来をデザインし、実践のシナリオを描ける人材の育成」を目的とし、研修生が改革案を企画立案し発表するものです。報告会には県下JA17名の研修生のほか、各JAの組合長・役員・参事、県青壮年部協議会員、県女性部協議会員ら40名が出席しました。

JA阿蘇から参加した南部営農センターの工藤徳義さんは「あるべきJAの未来の姿を描き、そこから何をすべきか考え、一つ近づける具体的な取り組み案」について発表しました。



JA阿蘇役員の前さんと工藤さん(左から2人目)

工藤さんは、JAの経営環境を「過去・現在・未来」に分類し、「過去に適合していた構造が現在に適合するかの。現在に適合するように修復しても時代の変化には追いつかないし、次々に適合できない部分が発生する。直面している問題だけ解決しても未来は描けないので、現在の問題点から出発するのではなく、将来の経営環境がどうなるかを最初に考え、それに適合する『将来のJAのあるべき姿』を考える必要がある。それには先ず役員全員が考えることから始める」と前置、「私の行動改革案」「1年目に取り組む事」「研修所感」を具体的に発表しました。

報告会に出席した後藤常務は「今の状況を十分に把握し、課題である地域に根ざしたJAになるため、手法を議論し具体化するために実践してほしい。特に営農事業で目標に掲げた事項に対し頑張ってもらいたい」と感想を述べました。

最後に報告会に出席した組合長らが採点、工藤さんは見事3位に入りました。報告会を終えた工藤さんは「ほっとしています。しかし、今後は前向きな気持ちが必要で。研修で感じ学

んだことを職場の仲間に伝え、1人でも多くの改革の同士の増やし、地域に必要とされるJAに変われるように頑張ります」と抱負を語っていました。特に工藤さんの発表の中で「JAには未来があります」という言葉が印象的でした。

新人職員に百姓への想い語る

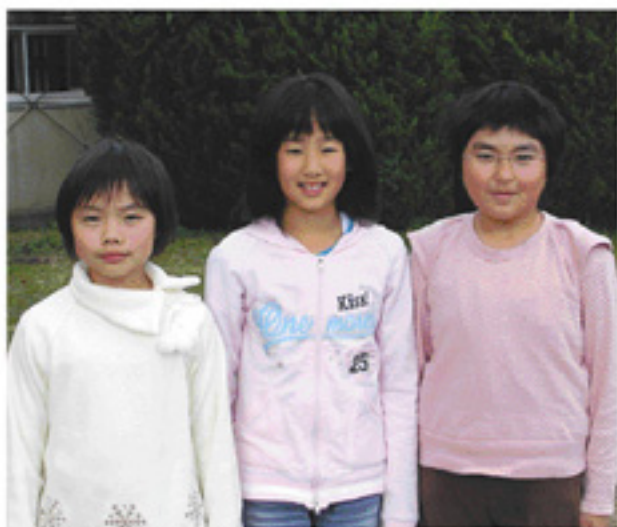
今村孝典さん



JA熊本教育センターで10月17日、新人職員研修会が行われJA阿蘇青壮年部会長の今村孝典さんが「新人職員への期待」と題して講義を行いました。

今村さんは冗談を交え経営状況や趣味を紹介、17年度のJA阿蘇青壮年部の役員改選では「年齢的」な事だけで僅か15分で会長を引き受けたと経緯を語り、農業に対する課題や自ら取り組む姿勢や農家という言葉より「百姓」という言葉にこだわっていることなどを話しました。

青壮年部活動については、盟友の主張コンクールや学習活動、日本農業新聞や購読紙「地上」の推進を県青協と検討していること、米1俵の価格変動で農家の収入に影響がでることなど、農政活動の重要性なども説明しました。今村さんは青年団の研修で北海道のJAを訪問した際、お茶を出した女性職員に「あなたがお茶を出すことがJAのためになるか」と意地悪な質問したら、「私の出したお茶で組合員がうるおえる事を期待している」と返事があったことに感心し、職員教育が徹底していたことに驚いたエピソードなども披露しました。さらに「職員は百姓との距離を縮めてほしい。そのためには自己学習や努力が必要である」と語り、JAの今後についても「このままでは危機を感じる。推進事業など組合員のために頑張っているのか、百姓は職員に苦勞をさせたくない。今まで築き上げた職員と関係を大切にしている。そういう職員になってほしい。最近の職員の資質は向上しているので自信をもつてがんばってほしい。百姓との信頼関係を築くためにも」と結びました。



女性フォーラムで「ちやぐりん読書感想文」を発表した  
(写真左から)北さん、松本さん、城戸さん

「ちやぐりんを読んで」



市原小学校3年 城戸 朱音

私は、「ちやぐりん」を読んで、一番おもしろかったのは、「お米クイズ」でした。なぜなら、わたしもおじいちゃんからいねをもらってバケツで育てているから、きょうみをもって見たからです。

私の、いねは、おぼんころ、ほが出始めてたきんのお米ができています。私のいねは、おじいちゃんが田んぼに植えるのこりをバケツに田んぼの土を入れて育てている物です。



クイズのないようは、いねを育てるところから

さい後のできたお米のほんまでをクイズにしています。このクイズの中で私がびっくりしたのは、アイガモやコイやカブトエビが草とりの手伝いをしてくれたり、田んぼの中のがい虫まで食べてくれたりしていることです。南小園でもアイガモやコイを田んぼの中に入れて草とりをさせている家もあるそうです。カモもコイも大きくなったら田んぼから出すそうです。

いねの花は、長くさくのかなあと思っていたけど、それほど長くさかないことをしつてびっくりしました。

お米が千二百つぶもしゅうかくできることをしつて、どのくらいなのかなあと思いました。でも千二百つぶよりもっとたくさんしゅうかくできるのはすごいなあと思いました。

温度が高く、しつ気が多い場所などにはかんしておくと、どんどん味も悪くなってしまうことをしりました。

毎日、食べているお米ややさいななどは、のうかの人がいっしょうけんめい育てているのがわかったので、しつかりのこさず食べたいです。

「ぼくの八月六日」を読んで



尾ヶ石東部小学校3年 松本 美優

わたしは、「ぼくの八月六日」を読んで、こんな時代に原子ばくだんが落ちたんだなあと思いました。

かじやふみあきさんが突っさいに体けんしました。

一九四五年八月六日に、広島に原子ばくだんが落とされました。わたしがそこにいたら生きのこれていても何もできないと思います。一九四五年八月六日、その日の朝、ふみあきさんは、お姉さんといっしょに、ゆかをふいていました。しばらくすると、水がよこれてきました。ふみあきさんのお姉さんが、「バケツの水くんできてちょうだい。」つと言いました。ふみあきさんが、「重いから、ぼくいやだよ。お姉ちゃんが行ってよ。」つとふみあきさんは言いました。そして、お姉さんが行くことになりました。ふみあきさんは、ゆかをふいていました。その時、ピカーッと何百ものフラッシュがいつべんに光ったような強い光が見えました。わたしは、その何百ものフラッシュにおそわれたら、たぶん死にいたると思います。だからわたしは、ふみあきさんが、生きているのがすごいなあと思いました。

しばらくして、ふみあきさんは気がつくときつ暗な中で体を小さくまるめてふせていました。ふみあきさんがどんなに待ってもだれもたすけにきてくれませんでした。

わたしがふみあきさんじしんだつたら気がついたら、自分ですけをよびます。

しばらくすると、てんじょうに光がみえてきました。ふみあきさんは、まわりにあつた土かべをおしあげてひつしになって上へと上がりました。ようやく外へ出ることができました。



まわりのふうけいを見てふみあきさんがみたとたん、びっくりしました。まわりにあつたたてものがすべてつぶれていました。

わたしだったら外に行ってお父さんやお母さんやみんなをさがしにいけます。さがしたら、どこかにげます。

そして、ふみあきさんの目の前の道をきずついた人たちが、ぞろぞろと歩いていました。その人々のよう服はやぶれてボロボロでした。なかには、ひふがだらりとたれさがった人もいました。そんな人が大ぜい足をひきずるように歩いていました。

わたしは、きずついた人たちがとおつていたらなにもできないと思います。ひふがだらりとしている人をちりようすると思います。ちりようができなかつたらそのままどこかに行きます。

そして、ふみあきさんは、川のほとりまでくると川には、もうかぞえきれないほどの死体にながれていました。

わたしは川にながれている死体を見たら、本当にかわいそうだなあと思います。

そして、ふみあきさんがふりむくと、そこにはきんじよにすむおばあちゃんがありました。

夕方になっておばあさんは、ふみあきさんの手を引いて、ふみあきさんのお姉さんやお母さんをさがしにいきました。歩いていると、「かじやさんちの家の人たちはぐんかん山にいるよ。」と、お教えられています。ぐんかん山に行きました。わたしは今せんそうは、本当にこわいなあと思いました。川に死体は、ながれるし人々が死んでいくのは、見たくないです。

せんそうが、終わった時、広島は、一面やけ

野原でした。そして、ふみあきさんは、次の時代を作る、子どもたちのために、学校の先生になろうときめました。

わたしは、ふみあきさんがすごいなあと思いました。せんそうの中生きのこつて、このお話をしているからすごいなあと思いました。

ふみあきさんは、これからも、自分たちのたいけんをみんなにかたっています。ふみあきさんは、それが生きのこつている大せつなやく目だとしんじています。

わたしは、せんぶのはなしは、すごいなあというきもちでいっぱいです。わたしは、せんそうと言う言葉はなくなつてほしいです。

## 「朝食の大切さ」

白水小学校3年 北 ひかり



私は、「お米の力」を読んで、朝食をちゃんにとらないと、頭のはたらきがあまりよくないことを初めて知り、少し反省しました。

このエネルギーげんはブドウとうで、ねむっている間にほとんど使いはたされていて、朝起きた時はからっぽだそうなんです。この重さは体重の二パーセントほどなのに、体全体で使うエネルギーのやく二十パーセントものうが使っているから、とてもおどろきました。

一日にのうの使うブドウとうは、やく百二十グラム。そのりょうをのうに送るためには、朝・昼・晩の一日に三回の食事をきちんととるひつ

ようがあるのです。

私は、夕食前におかしを食べすぎてごはんが食べられなくなり、お父さんやお母さんにしかられることがあります。それはよくないことだとあらためてわかりました。

これからは、おかしのりょうをへらして、ごはんをたくさん食べようと思います。

朝ごはんできつたブドウとうをのうに送らないうと、きんちようかんがつかず、べん強にもしゅう中できないそうです。ブドウとうのもことになるのは、たん水化物。ブドウとうのほきゅうの目だけだつたらパンやめんいでもかまいません。でも、ごはんの方がはるかにゆうりだそうなんです。なぜなら、ごはんはつぶのまま食べるので、こな食とちがい、かむ回数が多くなるからだそうなんです。よくかむとしよう化がよくなるのはもちろん、のうの血行までよくなるので、おどろきました。しかも主食がごはんだと、みそ汁から始まって、のりやなつ豆、たまごやき、やきザケなど、のうのはたらきをよくするせい分をふくんだものを多く食べるから、よいそうです。

私は、「お母さん、朝ごはんはパンがいい。」とよくたのんでいましたが、朝食にはんが多いわけがよくわかりました。また、みそ汁などものこさずいっしょに食べようと思いました。

このように「お米の力」を読んで朝食の大切さがよくわかり、とてもべん強になりました。これからの生活に生かしていきたいと思えます。



JAバンク熊本・年金友の会

第7回親善グラウンド・ゴルフ県大会



J A年金友の会組織の拡大を図り、会員相互の親善と融和を深めることを目的に、J Aバンク熊本・年金友の会親善グラウンド・ゴルフ県大会が11月18日、パークドーム熊本で開催されました。7回目となる今大会には県内各J Aから予選を勝ち抜いてきた最高齢88歳の選手をはじめ490人が出場。J A阿蘇からも45人がエントリーしました。



上位入賞の坂梨さん(左)と山野さん

坂梨幸人さん(一の宮)、  
山野松寿さん(小国郷)上位入賞



選手の皆さん

国旗・J A旗掲揚、主催者挨拶、競技上の注意などの一連の開会プログラムが行われた後、競技に移りました。Aブロック(赤・青コート)、Bブロック(黄・緑コート)計78組に組み分けされた各チームは、ローテーション方式で1ゲーム8ホールを2ゲーム実施する打順でプレーしました。競技の結果、いづれもBブロックの坂梨幸人さんが6位、山野松寿さんが8位と上位入賞を果たしました。

J A阿蘇から4チーム出場

「ふれあいミニバレー」



第8回J A共済ふれあいミニバレー大会が平成17年11月26日、県内各J Aから49チームが参加して県立総合体育館で開催されました。J A阿蘇からは「高森はなしのぶ」「久木野モンキーガールズ」「阿蘇町レディース」



「一の宮古城愛好会」の4チームが出場。4チームとも惜しくも初戦を飾ることはできませんでしたが、出場した皆さんは「快い汗をかいて楽しかった」と感想をもらっていました。



## 平成17年度熊本県花き品評会 荒牧文博さんが金賞受賞



金賞の表彰式

平成17年度県花き品評会（主催＝県花き協会）表彰式が10月12日、県農業研究センター講堂で行われました。主催者挨拶、審査講評に続き表彰が行われ、阿蘇管内からは次の方々（敬称略）が入賞し表彰を受けました。

◇金賞＝荒牧文博（南阿蘇）  
トルコギキョウ ◇銀賞＝井上陽一（高森）トルコギキョウ、後藤芳暁（南阿蘇）バラ、鳴川孝宏（阿蘇）トルコギキョウ、荒牧文博（南阿蘇）宿根スターチス ◇銅賞＝碓井裕幸（阿蘇）小ギク、井野さき子（南小国）カーネーション、後藤博恵（南阿蘇）トルコギキョウ、小野龍範（阿蘇）バラ、後藤芳暁（南阿蘇）

バラ、甲斐幸治（高森）宿根カスミソウ

◎農水省九州農政局長賞＝荒牧文博、（社）日本花き卸売市場協会会長賞＝井上陽一、熊本県経済農業協同組合連合会長賞＝後藤芳暁、熊本県花き事業協同組合理事長賞＝鳴川孝宏

### 各地での多彩なイベントに 「まるごと阿蘇ブランド」

#### ■くまもと農業フェア

県内11地域の農産物や特産品を一堂に集めた「2005くまもと農業フェア&米まつり」が10月22・23日、県農業公園で開かれました。JA阿蘇からも「まるごと阿蘇ブランド」の農産物が展示即売されました。



#### ■ボランティアフェスティバル

第14回全国ボランティアフェスティバル ステイバル火の国くまもとが10月29・30日、熊本県内6ブロック（地域）を会場に開かれました。阿蘇ブロックの阿蘇市総合センターには「交流広場」が設けられ、アトラクションや農産加工品販売などが行われました。JA阿蘇からは四季彩館とJA阿蘇女性部が出品、大変な販



JA阿蘇女性部のみなさん

また看板コンクールにもJA阿蘇青壮年部一の宮支部と小国支部の作品が展示されました。



わいを見せていました。舞台上ではフラダンスやひよつとこ踊り、獅子舞など盛りだくさんのプログラムが行われました。



#### ■伝統的工芸品フェア

全国の優れた伝統的工芸品が一堂に集まった「くまもと伝統的工芸品フェア'05」が11月3日から6日まで、上益城郡益城町のグランメッセ熊本で開かれました。会場には物産品エリアも設けられ、JA阿蘇の展示即売コーナーでは新鮮な野菜や果物をはじめ、乳製品や農産加工品などが並べられ、連日、多くの人々が訪れました。



## JA阿蘇職員異動のお知らせ(平成17年11月14日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
斉藤 哲男	阿蘇町中央支所共済課長	阿蘇町中央支所金融共済課長
坂田 康雄	営農部技術普及課長	黒川支所長
渡邊 吉保	監査室監査次長兼監査課長	監査室監査課長
山部 賢次	営農部長	営農部長・農産課長兼務
石松 雄平	営農部農業振興課長兼まると阿蘇担当	営農部事業課長
江藤 剛一	営農部販売課長	永水支所長
山内今朝暹	阿蘇町中央支所金融課長	尾ヶ石支所長
今村 和夫	中部営農センター農産課長兼阿蘇町地域水産農業推進協議会出向統括	中部営農センター農産課阿蘇町統括農産課長(阿蘇町中央支所駐在)兼阿蘇町地域水産農業推進協議会出向統括
橋本 一夫	中部営農センター長	阿蘇町東部支所長
本多 勝喜	中部営農センター事業課事業係	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)
高宮 浩一	中部営農センター事業課長	中部営農センター長代行兼事業課長
石本 典子	阿蘇町中央支所内牧金融店舗係	阿蘇町中央支所金融共済課金融係
山内 美幸	阿蘇町中央支所金融課金融係兼農業者年金係	阿蘇町中央支所金融共済課貯金係
時松 誠也	小国郷中央支所債権対策課長兼融資係	小国郷中央支所金融共済課長代理
中島 隆文	阿蘇町中央支所共済課L A係(黒川)兼黒川店舗統括	黒川支所長代理
有働美由紀	営農部営農企画課福祉係兼女性部統括	営農部事業課福祉係兼女性部統括
清原 剛一	阿蘇町中央支所購買課黒川給油所係	黒川支所黒川給油所係
阿部 聖志	阿蘇町中央支所金融課金融係(融資兼債権)	阿蘇町中央支所金融共済課長代理
井野 雄	中部営農センター農産課農産係	阿蘇町東部支所金融共済L A係兼購買係
北里 龍治	阿蘇町中央支所共済課L A係(阿蘇町東部)	阿蘇町東部支所金融共済L A係
織野麗奈子	阿蘇町中央支所金融課未収金係	阿蘇町東部支所共済係
小橋みゆき	阿蘇町中央支所共済課L A係(阿蘇町東部)	阿蘇町中央支所金融共済課L A係(阿蘇町東部)
阿部 ルミ	阿蘇町中央支所金融課金融係(融資兼債権)	阿蘇町東部支所融資係
吉田 茂成	阿蘇町中央支所共済課L A係(黒川)	黒川支所L A係
河崎ひろみ	阿蘇町中央支所共済課共済係	黒川支所共済係
田上 修二	阿蘇町中央支所共済課L A係(阿蘇町ブロック長)	阿蘇町中央支所金融共済課L A係(阿蘇町ブロック長)
松村 浩市	阿蘇町中央支所共済課L A係(永水・尾ヶ石)	阿蘇町中央支所金融共済課L A係(永水・尾ヶ石)
成瀬誠一郎	阿蘇町中央支所共済課L A係	阿蘇町中央支所金融共済課L A係
荒木美智代	営農部営農企画課営農係	営農部営農係
吉田 紀子	阿蘇町中央支所黒川金融店舗係	黒川支所購買係
池田 博文	営農部販売課販売係	営農部農産課農産係
中嶋しおみ	阿蘇町中央支所内牧金融店舗係	阿蘇町東部支所出納係
藤田 武史	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)	中部営農センター園芸課園芸係
橋本 由美	阿蘇町中央支所共済課共済係	阿蘇町中央支所金融共済課共済係
坂田 順城	小国郷中央支所購買課小国給油所長	小国郷中央支所購買課小国給油所係
田代 美佳	阿蘇町中央支所金融課金融係(貯金)	永水支所金融係
森 一成	阿蘇町中央支所購買課黒川給油所長	黒川支所黒川給油所長
松本 克也	阿蘇町中央支所共済課L A係	阿蘇町中央支所金融共済課L A係
嶋田 尚仁	営農部農業振興課農業振興係	営農部営農企画課青年部係兼畜産係
松本 博美	阿蘇町中央支所金融課金融渉外係	尾ヶ石支所金融係
鎌倉 美枝	阿蘇町中央支所金融課金融係(出納)	阿蘇町東部支所貯金係
村上 敬	阿蘇町中央支所金融課金融渉外係兼金融係	永水支所共済係
井川 美香	阿蘇町中央支所金融課金融係(貯金)	尾ヶ石支所金融係
大津 裕美	購買部購買課購買係	阿蘇町中央支所金融共済課出納係
森 美和	阿蘇町中央支所金融課金融係(貯金)	黒川支所貯金係
伊藤あずさ	阿蘇町中央支所共済課共済係	阿蘇町東部支所金融共済係
佐藤 麗美	営農部営農企画課営農係	営農部営農係
成瀬 裕介	阿蘇町中央支所金融課金融係(貯金)兼金融渉外係	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)
小嶋 幸俊	阿蘇町中央支所購買課内牧給油所係	阿蘇町中央支所購買課給油所係
山本 隆行	阿蘇町中央支所共済課共済係	尾ヶ石支所購買・共済係
坂本 晃	阿蘇町中央支所購買課黒川給油所係	黒川支所給油所係
石本 勝城	阿蘇町中央支所購買課永水給油所係	永水支所永水給油所係
渡邊 俊羽	阿蘇町中央支所購買課内牧給油所係	阿蘇町中央支所購買課給油所係
荒木あずさ	阿蘇町中央支所黒川金融店舗係	黒川支所金融係
下城ちずる	阿蘇町中央支所共済課共済係	阿蘇町中央支所金融共済課共済係
大塚さやか	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)	永水支所金融係

## 高森、一の宮で農業用廃プラスチック回収

JA阿蘇高森中央支所では昨年10月21日、農家で使われなくなったハウスビニールやポリフィルム等を集める廃プラスチックの回収を行いました。回収は高森町農業用廃プラスチック処理運営委員会が中心となり進められ約6tの廃プラスチックが集められました。その後、同委員会において総会が開かれ、今後の回収について話し合われ、不法投棄・焼却を撲滅するためチラシ等を全戸配布し、農家の環境へ対する意識を今まで以上に高めていくことを重点目標にすることなどを承認し閉会しました。

一方、一の宮集荷場前においては11月1日、一の宮園芸部会の農業用廃プラ（肥料袋を含む）約20tの回収を行いました。



写真上が高森、下が一の宮での廃プラ回収の様子

これは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、事業活動に伴い生じた廃棄物は自らの責任において適正に処理しなければいけないため、収集運搬、処理の許可を持った業者に委託し行われたものです。園芸担当職員は「不法投棄や焼却を防ぎ、再資源化を行うことによりクリーンな環境目指して、今後も組合員に徹底して呼びかけたい」と話していました。

### 信用窓口の接客願う

### ロールプレイング地区大会 最優秀賞に鎌倉・阿部チーム

JA阿蘇は10月8日、一の宮中央支所で信用窓口担当者によるロールプレイング阿蘇地区大会を行いました。審査員に農林中金熊本支店の職員ら10名を迎え、お客様に選ばれ信頼される地域ナンバーワンの窓口を目指し、JA阿蘇20支所の担当者が接客を競い合いました。どのチームも5分間の所要時間でそれぞれが工夫を凝らし、笑顔でユーモアたっぷりに一生懸命接客に当たりました。最優秀チームは今1月に宇城市で開かれる

## JA阿蘇きらり



「何事もプラス思考で  
頑張ります」

阿蘇町中央支所共済課  
下城ちずるさん  
昭和60月生まれ  
住所＝阿蘇市西湯浦

昨年11月14日より業務が開始された新しい阿蘇町中央支所の共済課に勤務する愛称「ちーちゃん」。

「共済は覚える事がたくさんあるので大変ですが、何事もプ

果大会に出場します。成績は次の通り。(敬称略)

▽最優秀賞＝鎌倉美枝、阿部

ルミ(阿蘇町東部支所)

▽優秀賞＝

甲斐千春、

宮川理沙(二

の宮中央支所) 津留晴

代、笠貞利  
(野尻支所)



最優秀賞の鎌倉さん  
阿部さんの願望

「買物の達人になりたいのですが」と、将来の夢なのではないか。

好きな言葉は「明日があるさ」、好きな食べ物は「マクドナルドのポテト」と若い人らしい答えでした。尊敬する人は「私のマイペースについてくれる人」、「車の運転が上手な人」、「ほのぼのとした人」だそうです。

取材の最後に、何事にも一生懸命にがんばりますので、よろしくお願ひします」と締めました。

## 支所統廃合に対応し 黒川金融店舗にATM

J A阿蘇は阿蘇町中央支所管内の支所統廃合により、東部支所に次ぎ11月14日、黒川金融店舗にも現金自動預払機(ATM)を設置しました。開通式典では関係者によるテープカットが行われATMが稼動しました。



ATM開通式で  
テープカットを行う関係者



## 理事会・監事会報告

### ■平成17年度第9回理事会

日時 平成17年9月29日午後1時30分  
場所 一の宮中央支所会議室

- 1 開会
  - 2 組合長挨拶
  - 3 協議事項
    - 8月末実績報告
    - 委員会報告(金融・共済専門委員会、債権管理委員会、経済専門委員会、総務委員会)
  - 1) 不良債権解消3ヶ年計画等について
  - 2) 平成17年度系統債権管理回収機構(株)のJA債権買取について
  - 3) 職制規程(貸出金)の一部改定について
  - 4) 信用取扱手数料について
  - 5) 貸出金について
  - 6) 畜産近代化リース事業について
  - 7) 西原給油所改装工事について
  - 8) その他
- 報告事項 平成16年度実施の税務調査に係る新聞報道について
- 報告事項 平成17年度上半期棚卸監査実施について
- 報告事項 役員賠償責任保険について
- 報告事項 減損会計に伴う遊休資産について
- 報告事項 組織整備今後の対応について
- 報告事項 平成16年度事業別損益計算書について
- 報告事項 平成17年度畜産環境特別対策事業について
- 報告事項 平成17年産米検査状況について

### ■平成17年度第10回理事会

日時 平成17年10月31日午後1時30分  
場所 一の宮中央支所会議室

- 1 開会
  - 2 組合長挨拶
  - 3 協議事項
    - 9月末実績報告
  - 1) 教育ローン(希望)の金利設定について
  - 2) 店舗統廃合に伴う信用事業方法書の変更について
  - 3) 貸出金について
  - 4) 畜産近代化リース事業について
  - 5) 支所管理規程の一部変更について
  - 6) その他
- 報告事項 平成17年9月末組合員の状況について
- 報告事項 店舗統廃合に伴う黒川支所ATM設置について
- 報告事項 平成17年産米検査状況について
- 報告事項 平成17年度全国監査機構期中監査実施について
- 報告事項 平成17年度上期事務監事監査実施について

### ■平成17年度第7回監事会

日時 平成17年10月17日午後1時30分  
場所 本所2階会議室

- 1) 平成17年度米麦等棚卸監事監査回答書について
- 2) 上半期仮決算要領について
- 3) 自主検査結果報告について
- 4) 平成17年度上半期内部監査実施報告について
- 5) 全国監査機構期中監査実施について
- 6) その他



地元のもの素材を主に栄養たつぷりのおいしい正月料理を作ろうと、JA阿蘇女性部各支部で「おせち料理」の講習会が開かれました。一の宮支部では11月28日、旧坂梨支所購買店舗を利用して作られた農協女性部加工所「味彩」に予想を上回る37名の部員が集まり、和気あいあいのうちに一足早いおせち料理を作りました。JA食材のおせちセットを使用し、2時間かけて出来上がった数々のメニューは上々で、部員らは出来たてのおせち料理を早々に試食し、お正月気分を味わっていました。また、白水支部でも11月29

日、南阿蘇村役場白水庁舎で正月料理教室が行われました。JA阿蘇女性部員対象の料理教室でしたが、地区の女性農業者の会のメンバーにも声かけ、経済連の担当者も含め、30名が参加しました。調味料にはAコープマークの品を使用し、それぞれ参加者が協力しながら料理を作りました。女性農業者の会メンバーからは調味料などに対して質問も出て、経済連や担当者が質問に応じていました。12月には、一の宮や白水支部以外の支部でも「おせち料理」の講習会が行われました。

大型バス9台を連ねての「第1回ふれあいの旅」（平成17年2月）に続き、第2回目の「ふれあいの旅」が11月1・2日、187名が参加して行われました。今回は佐世保・平戸・伊万里方面へのコースが設定され、「梅沢富美男・前川清特別公演」観劇や窯元見学などがスケジュールに組み込まれました。1日目の夜には部員が一堂に揃つての懇親会が行われ、各支部から趣向を凝らした歌や踊りなどの出し物が披露され、会場は夜遅くまで笑いと喝采に包まれました。

第2回JA阿蘇女性部  
ふれあいの旅  
さらに親睦と結束を深める

## 白水支部



JA阿蘇  
女性部各支部で  
「おせち料理」講習会

# 《品目横断的経営安定対策へ変わります》

〈地域全員参加の取り組みを〉

## ＜「経営所得安定対策等大綱」決定＞

①品目横断的経営安定対策 ②米政策改革推進対策 ③農地・水・環境保全向上対策

平成19年度から導入される品目横断的経営安定対策は、すべての農家を対象にしてきた品目ごとの価格政策から「担い手の経営」に着目して、所得政策に大きく舵を切った戦後最大の農政改革です。現在講じられている麦作経営安定資金や大豆交付金などの品目別対策を見直し、「担い手」の経営に着目した「品目横断的経営安定対策」に転換されます。

### 具体的には

- ①諸外国との生産条件格差(担い手のコストと販売収入の差)を是正する対策(ゲタ対策)
- ②収入の変動による影響を緩和する対策(ナラシ対策)----を講じます。

### 地域総動員による推進体制

新たな対策は、平成19年産の米・麦・大豆等から導入されます。①17年度内には、集落ごとにめざすべき地域農業の将来像と担い手像の明確化に向けた話し合い活動を徹底し(「年内の取り組み」)、②年度内には、具体的な担い手の提起と合意形成を図ります。③18年夏には、認定農業者の認定、営農組織の組織化、対策への加入契約を完了します。

そこで、行政・関係機関が一体となり担い手、集落営農での取り組みが必要となりますので、JA阿蘇としては水田農業「担い手経営安定対策推進室」を設置し、「地域総動員による推進体制」により集落座談会を開催します。詳しくは、1月から開催致します座談会でご説明申し上げますので、関係農家の方々のご参加をお願い申し上げます。

### JA阿蘇新たな経営安定対策を踏まえた今後の担い手の進め方

日 程	運動の位置付け	地域での取り組み
平成17年12月		※JA阿蘇水田農業「担い手経営安定対策推進室」設置 ※関係機関、地域一体となった体制づくり
平成18年1月 ～3月	(集落「担い手づくり 戦略」の大枠づくり)	「集落座談会」 ・新たな対策の説明 ・地域の将来像の提起 「集落、担い手づくり戦略」を合意形成 ・納得いくまで話し合い ・担い手の明確化 ・地域の役割分担 ・各集落責任者の選出
平成18年5月 ～8月		担い手・集落組織の認定申請、加入契約の完了
平成19年4月		担い手経営安定対策スタート

### お問い合わせ先

JA阿蘇本所営農部

☎ 22-6115

JA阿蘇中部営農センター

☎ 32-1132

JA阿蘇小国郷営農センター

☎ 46-3211

JA阿蘇南部営農センター

☎ 62-9833